

授業科目	論理国語			2025 年度 国語科シラバス
学年（コース）	3 学年	特進	単位数 3 単位	
授業内容	<p>○近現代の論理的な文章を読解し、的確な言葉を用いて考えを表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語彙などの基本的な知識、背景知識を習得し、読解に活用する。</li> <li>・具体的事例と筆者の意見、因果関係や対比構造など論理の展開を理解して内容を把握し、筆者の主張・要旨を読み取る（読解のスキルを高める）</li> <li>・社会的な話題の文章を読んだり、資料を活用したりして、得た情報をもとに自らの主張を再構築し、言葉で表現するトレーニングを積み上げる（思考力・表現力の強化・向上）。</li> <li>・文章記述や発表、議論を通して考えを表現し合い、また人の意見を理解し、お互いの考えを深め合う（ペアワーク・グループワーク）。</li> <li>・大学入試の問題を意識して記述力、共通テスト対策のアウトプット演習を行う。</li> </ul>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を正確に読解する力を身につけている。そのための要約力・質問力・明確化・予測などの方略を修得できている。</li> <li>・自分の考えを論理的に表現することができる。そのために書くこと・話すことを積極的にできる態度を1年間で向上させている。</li> <li>・ものの見方や考え方を深めるとともに、人と理解し合い人生を豊かにする、自らのキャリアについて授業を通じて考えるなどの態度を1年間で向上させている。</li> <li>・自らが考えて、言語運用能力を高める、読解スキルを向上させるなど主体的に学習する態度と、仲間と協力する・読書やICTを利用しての対話的な学習を行えるようになっている。</li> </ul>			
評価方法	<p>① 「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価する。①については定期考査、小テストの結果で評価。加えて、自主的な学習を評価に加える。②については定期考査（記述問題）と課題の内容で評価。課題を積極的に行うことで思考力・表現力を高めることも加点対象とする。③はリフレクションシート（授業ごとに提出）の内容を精査し、また授業への取り組む姿勢、ペア・グループ活動での貢献度、課題やノート等の提出状況で評価する。特に、リフレクションシートにおける自己評価、相互評価を重視し、評価活動によって主体性を高めることを目標とする。</p>			
使用教材	<p>教科書 「精選論理国語」（東京書籍）漢字・語彙力（授業にて指示）（昨年から継続） 副教材 「新共通テスト対策 決戦現代文完答 22+6」（尚文出版） 「共通テスト対策 実力完成 直前演習 2026」（進研）</p>			
その他	<p>大切なのは教科書や教材の内容を覚えることではなく、授業を通じて語彙力、背景知識を増やし、表現力、思考力、判断力などの言語運用能力と読解スキルを高めることです。それが「生きる力」をつけ、人生を考える基礎力を向上させます。また、この授業は大学入試のための実践力を向上させることに繋がります。教材についてはみなさんの習熟状況に応じて修正する可能性があること、投げ込みの教材を使用することを付記します。</p>			





授業科目	古典探究				2025年度 国語科シラバス
学年(コース)	3学年	特進	単位数	文系 3 理系 2	
授業内容	<p>&lt;古文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○古文の基礎知識を定着させ、それを活用して読解する。 古文単語、古典文法(助詞・助動詞・敬語・識別・和歌の知識)、古文常識など。</li> <li>○和歌の修辞を理解し、和歌に詠まれた心情や情景を理解する。</li> <li>○日記を読み、作者の心情を捉え、人間性や生き方を自分なりに考える。</li> <li>○複数の作品を比較しそれぞれの主張を整理し、それに対する自分の考えを表現する。</li> </ul> <p>&lt;漢文&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢文の基礎知識を定着させ、それを活用して読解する。 訓読の決まり・句法・漢文常識語など。</li> <li>○描かれている時代背景を知り、人々の思想や生き方を知る。</li> <li>○様々な作品の読解を通して、文章の内容や筆者の主張を理解する。</li> <li>○共通テストや大学入試過去問題などによる問題演習</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古文・漢文の知識を理解・習得し、読解する能力を身につける。</li> <li>○入試問題に対応できる力を習得する。</li> <li>○古典の読解を通して、時代背景や当時の人々の生き方・価値観を知り、自己のものの見方や感じ方を広く豊かにする。</li> </ul>				
評価方法	<p>①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価する。</p> <p>具体的には、定期考査を中心に、課題点検テスト・小テスト・課題の提出状況・日常の授業への取り組む態度や成果、グループ活動への参加態度・振り返りシートの内容などをもとに、総合的に評価する。</p>				
使用教材	<p>教科書 「精選古典探究 古文編」(東京書籍) 「精選古典探究 漢文編」(東京書籍)</p> <p>副教材 「マスター古典3 三訂版」(啓隆社) 「共通テスト対策 古典完答22」(尚文出版) 「共通テスト対策 実力養成直前演習国語2026」(進研学参)</p> <p>※「古文単語330」(いっぴな書店) 「新修古典文法」「新修古典文法ドリル編」(京都書房)、 「新明説漢文」「新明説漢文ノート」(尚文出版)は継続使用</p>				
その他	<p>1学期は教科書を使用し、演習をする。 2学期からは主に共通テスト対策を行う。 文系は私大・記述対策も並行して行う。</p>				

●授業進度表(3年特進 古典探究)

学年科目	単元	項目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
3年特進	古典探究	詩歌	和歌修辞法	■	■																																		
		詩歌	歌合・歌論				■																																
		日記	蜻蛉日記																																				
		史伝	説苑・三国史																																				
		文	捕蛇者説																																				
		入試問題演習	共通テスト演習 記述演習																																				

※文系のみ 私大・記述演習

























授業科目	総合理科			令和7年度
学年・コース	3 学年	特進・文系	単位数	2
授業内容	<p>化学基礎</p> <p>第1編 物質の構成</p> <p>原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解させる。また、物質の性質については化学結合との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。</p> <p>第2編 物質の変化</p> <p>物質量を学習した後、化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応から化学反応に関する基本的な概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。</p> <p>生物基礎</p> <p>第1部 生物の特徴</p> <p>生物の多様性と共通性の視点を身につけ、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。</p> <p>第2部 遺伝子とその働き</p> <p>生物と遺伝子について観察、実験などを通して探究し、細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。</p> <p>第3部 生物の体内環境の維持</p> <p>生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識する。</p> <p>第4部 生物の多様性と生態系</p> <p>生物の多様性と生態系について観察、実験などを通して探究し、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。</p> <p>探究活動</p> <p>観察・実験問題を通して、科学的に思考・探究する力を養う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学と生物の基本的な概念や原理・法則の理解から科学的な見方や考え方の資質・能力を向上させ、自律した学修者を目指す。</li> <li>・大学入学共通テストおよび私立大学の入試問題を解く力をつけること。</li> </ul>			
評価方法	<p>知識・技能(35点)…定期試験、小テスト</p> <p>思考力・判断力・表現力(35点)…定期試験、授業内活動</p> <p>主体的に学習に取り組む姿勢(30点)…授業内活動、振り返りシート等の提出物から総合的に判断して評価する。</p>			
使用教材	<p>化学基礎(東京書籍) 生物基礎(数研出版)</p> <p>ニューグローバル化学基礎(東京書籍) リードα 生物基礎(数研出版)</p> <p>チェック&amp;演習 化学基礎(数研出版) 共テ実践対策問題集生物基礎(数研出版)</p>			









